

責任が
次代を
ひらく

4年間の軌跡、そしてその先へ。

3期目の当選をさせていただいた平成27年から4年間の議会活動を振り返り、新たな時代もしっかりと横浜を前に進めてまいります。



自民党公認・市議員候補

関勝則

せきかつのり

●お願い●
公職選挙法違反となるため、
選挙期間中は本ページの出力は
固くお断りいたします

平成27年度(2015年)

4月 「横浜市商店街の活性化に関する条例」施行

自民党市議団において商店街振興プロジェクトチームの座長を務め、これまで市内外の商店会や個店、地域の方々の意見交換を行い、横浜市とも議論を進めてきました。条例の施行後には国による地域経済活性化事業を活用して全国でも例のない市内商店街に限定したプレミアム商品券を発行(9月)し、商店街振興に繋げることができました。

7月 健康福祉・医療委員会の委員長として

市外視察で聖粒会慈恵病院(熊本県)を訪問し、コウノトリのゆりかご(赤ちゃんポスト)事業について聴取しました。質疑の中で院長先生の「昨今の自己責任の欠如や社会的育児の貧困、家族の絆の希薄さに危惧を感じている。赤ちゃんの幸せを第一に考えることが大切です。」との言葉に感銘し、要保護児童対策の重要性を再認識するところとなりました。

12月 本会議において一般質問

自民党市議団が尽力し誘致した「全国都市緑化フェア(平成29年3月開幕)」に対する市長の取り組み姿勢を質し、マイナンバー制度の運用に際しサイバー攻撃等の対策強化を要望。客船のための新たな施設整備を訴えたところ、新港地区に客船ターミナルを整備するとの答弁があり、大さん橋国際客船ターミナルの利便性向上を質すと、車線の増設や歩道の再整備を実施するとの回答がありました。また、社会的養護が必要な子供たちのために里親制度の推進を、青少年野外活動センターの維持改修を要望しました。

通年 観光・創造都市・国際戦略特別委員会

27年度の取組として、東京オリンピック・パラリンピックの開催を好機と捉え、横浜に多くの来街者を迎え、その後も選ばれる都市となるような環境整備について議論しました。

平成28年度(2016年)

6月 磯子区内の緑化を推進

全国都市緑化フェアの開催に向け、市内各地でも緑化の取組が進められています。磯子区では、杉田臨海緑地の芝生広場の拡張や5丁目緑道の整備、聖天川沿いの車道緑化を進め、新杉田臨海部の緑化に取組むと区議団会議にて報告がありました。緑道の整備は地元町内会からの要望もあり、私も区役所等に働きかけてまいりました。

9月 決算特別委員会の総括質疑において

27年度決算の審査を行い、市民サービスの向上を図るため「クレジット収納」の導入を提案(2020年度から導入予定)。また、オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を契機に障害者スポーツのさらなる推進、国際園芸博覧会(花博)の招致に向けた国への積極的な働きかけを要望し、南部市場の活性化に向けた取組について質しました。

3月 予算特別委員会において医療局を審査

高齢化の進展による2025年問題への対応策や南部病院の再整備について質し、県下唯一の第一種感染症指定医療機関である市民病院に対して、国や県の積極的な支援を求めるよう要望。

通年 大都市行財政制度特別委員会の委員長として

当委員会では、横浜市が持続可能な都市経営を進め、市民によりよい行財政サービスを提供できるよう、新たに大都市制度を創設するための調査研究を行ってまます。11月には委員会を代表し、国に対し税制改正要望を行いました。